資料１

守山市中部地区地域包括支援センターへの引継ぎ等実施状況について

１　実施期間および場所

ア　期間　令和３年１月から３月末まで

イ　場所　すこやかセンター他

２　中部地区地域包括支援センターの体制

所長　山口　勉　（主任介護支援専門員、社会福祉士）

草野　真紀（保健師）

井上　寿美（社会福祉士）

京田　早千代（介護福祉士）

遠藤　恵美（社会福祉主事）

３　研修・引継ぎの内容　　別紙１

地域包括支援センターの業務全般の理解を進めるため、以下の事業・業務について、研修において、説明を行いました。なお、業務を行ううえで必要となる障害福祉、生活困窮、消費生活相談、健康づくり等についても関係部署職員による講義を行い、事例を通じて理解を深めました。

また、４月以降においても円滑な業務運営を図るため、個別ケースについても引継ぎを行いました。

（１）地域包括支援センターの運営にかかる業務の講義

ア　包括的支援事業

(ｱ) 総合相談支援業務

(ｲ) 権利擁護業務（高齢者虐待、成年後見制度等）

(ｳ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ｴ) 在宅医療・介護連携推進事業

(ｵ) 生活支援体制整備事業

(ｶ) 認知症総合支援事業

イ　多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

ウ　地域ケア会議の実施

エ　任意事業（家族介護者教室等）

オ　介護予防・日常生活支援総合事業

（２）事業等の見学および実技の実施

講義を行った事業のうち、以下について見学および実習等を行い、技術や実技の習得に努めています。

ア　守山百歳体操、健康のび体操、体力測定等介護予防教室の運営

イ　認知症キャラバンメイト学習会

ウ　認知症サポーター養成講座

エ　認知症カフェ

オ　もの忘れチェック

カ　出前講座（認知症サポーター養成講座など）

キ　地域ケア個別会議

ク　センター長会議、保健師会議、社会福祉士会議、主任介護支援専門員会議

ケ　ケアマネジャー研修

（３）ケースの引継ぎ

ア　引継ぎ対象者

専門的・継続的な支援が必要と判断されるケースおよび行方不明や虐待など緊急対応が必要と判断されるケース（レベル３および４）

◆ケース引継ぎ件数（２月 10 日現在）

吉身学区　34 件、玉津学区　７件

イ　引継ぎ方法

対象者ごとに、ケース概要、支援方針等を説明し、同行訪問による高齢者等への説明・状況把握、ケース会議の開催等による関係機関との連絡調整を行っています。

また、研修期間中の新規相談については、基幹型センター職員とともに対象者への相談対応やアセスメントを実施し、民生委員・児童委員等の地域支援者、医療機関、介護支援専門員、介護サービス事業所等との連携方法についての実践研修を行っています。

４　地域への周知および連携について

（１）学区担当の周知について

研修および引継ぎに際し、地域へ出向いて高齢者等の支援を行うため、各学区の自治会長、民生委員・児童委員へ学区担当者を紹介・周知しました。

（２）地域との連携について

圏域センターの学区担当者は、民生委員児童委員協議会や自治会長会、また、必要に応じて地域の事業等に出席します。また、各地区会館に積極的に出向き、地域との関係構築に努めます。

別紙１

◆中部地区地域包括支援センター研修スケジュール

日付	時間	場所	内容/テーマ	講師
1月4日（月）	9:30-10:30	機能訓練室	すこやかセンターオリエンテーション （関係課あいさつ、すこやかセンター内の事業を含む） 研修オリエンテーション ※9:30まで社会福祉協議会によるオリエンテーション	池田所長 安田係長 日下部主任保健師
	10:30-12:00			
	13:30-15:00		圏域包括（南部、北部）事業所訪問、あいさつ	安田係長 日下部主任保健師
	15:00-16:30		守山市について （基本情報、総合計画、各課担当業務・相談窓口など） 高齢福祉　3課について（各課担当業務・相談窓口、包括との連携など）	
1月5日（火）	9:00-10:30	機能訓練室	講義 1　センターの役割および運営について （1)基幹型センターの役割　(2)圏域センターの役割 (3)各種事業および会議について（運営協議会（介護・包括）、在宅医療・介護連携推進協議会、地域ケア会議、管理者会議、センター長会議、職種別会議　等） 2　センターの体制について （1)職員体制（2)緊急体制（3)苦情等の対応（4)守秘義務(個人情報等について）(5)法令等の遵守 3　センターの運営上の重要な視点について （1)チームとしての視点（2)公正かつ中立な運営の視点（3)市関係部局、関係機関との連携（4)センター職員の資質の向上（5)地域資源の活用の視点（6)ネットワーク構築の視点（7)介護保険法第4条における国民の努力および義務の視点（8)自立支援のあり方についての視点 4　守山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画「守山いきいきプラン」について	上本参事
	10:30-12:00			
	13:30-15:00			
	15:00-16:30			
1月6日（水）	9:00-10:30	機能訓練室	講義 包括的支援事業の充実① （1)総合相談支援事業	徳田主査
	10:30-12:00			
	13:30-15:00		講義 （1)相談受付から継続フォローまで（2)カルテの管理方法 （3)個人情報の取扱（4)圏域会議の開催 （5)民生委員との連携（6)地区診断、アクションプラン 他	
	15:00-16:30			
1月7日（木）	9:00-10:30	機能訓練室	講義 包括的支援事業の充実③ （3)包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 （ケアマネ研修、主任ケアマネ代表者会議　含む）	日下部主任保健師 三好主任保健師 室田保健師
	10:30-12:00			
	13:30-15:00			
	15:00-16:30		講義 包括的支援事業の充実④ （4)地域ケア会議の推進	日下部主任保健師

日付	時間	場所	内容/テーマ	講師
1月8日（金）	9:00-10:30	保健指導室	1月センター長会議 出席（所長）、見学（所長以外）	日下部主任保健師
	10:30-12:00			
	13:30-15:00	機能訓練室	講義 包括的支援事業の充実⑤ （5)在宅医療・介護連携推進事業（事例検討会、在宅医療・介護連携サポートセンターの説明含む）	阿部主査
	15:00-16:30		講義 包括的支援事業の充実⑥ （6）生活支援体制整備事業	長寿政策課 社会福祉協議会
1月12日（火）	9:00-10:30	機能訓練室	講義 包括的支援事業の充実⑦ （7）認知症総合支援事業	中島主任保健師他
	10:30-12:00			
	13:30-15:00			
	15:00-16:30			
1月13日（水）	9:00-10:30	機能訓練室	講義 介護予防・日常生活支援総合事業① （1)介護予防・生活支援サービス事業	石原保健師 三好主任保健師
	10:30-12:00		講義 その他の事業 （1)家族介護者教室 （2)出前講座	(1)櫻木主任保健師 (2)石原保健師
	13:30-15:00		講義 介護予防・日常生活支援総合事業② （2)一般介護予防事業	岡本主事（PT） 松岡保健師 日下部主任保健師
	15:00-16:30			
1月14日（木）	9:00-10:30	機能訓練室	講義・演習 高齢者の行方不明発生時の対応（SOS事前登録説明、SOSデモ他） 認知症家族介護者訪問	中島主任保健師 中村和初期集中支援員
	10:30-12:00			
	13:30-15:00		講義・演習 （1)介護保険代行申請、総合事業申請、認定調査同行 （2)福祉用具・住宅改修・その他申請 （3)判定会議 （4)要支援者CM調整 （5)サービス利用の手続き （6)その他	石原保健師 三好主任保健師
	15:00-16:30			
1月15日（金）	9:00-10:30	保健指導室	1月　保健師会議 出席（保健師・看護師）、見学（保健師・看護師以外）	日下部主任保健師
	10:30-12:00			
	13:30-15:00	講習室	見学 基幹　いきいき百歳体操・認知症予防教室「いきいき+トレーニング」	岡本主事（PT） 松岡保健師
	15:00-16:30			

日付	時間	場所	内容/テーマ	講師
1月18日（月）	9:00-10:30	機能訓練室	講義 (1)事務文書作成のポイント (2)市広報原稿作成のポイント	安田係長
	10:30-12:00		講義 (1)提出様式について（月報・年報、自治会長・民生委員向け報告書） (2)相談記録の書き方 (3)相談集計方法	日下部主任保健師
	13:30-15:00		講義 会議のすすめ方	日下部主任保健師
	15:00-16:30			
1月19日（火）	9:00-10:30	機能訓練室	出前講座見学① 「初級認知症サポーター養成講座」	松野認知症地域支援推進員 中島主任保健師
	10:30-12:00		出前講座見学② 「上級認知症サポーター養成講座」	
	13:30-15:00			
	15:00-16:30			
1月20日（水）	9:00-10:30	機能訓練室	出前講座見学③ 「エンディングノート」	阿部主査
	10:30-12:00		出前講座見学④ 「自立を目指した介護保険制度と総合事業」	三好主任保健師 岡本主事（PT）
	13:30-15:00	講習室	出席 ケアマネジャー研修 講義「高齢者のお口の中は？～オーラルフレイル予防に向けて」 その他　行政連絡等	日下部主任保健師
	15:00-16:30			
1月21日（木）	9:00-10:30	講習室	百歳体操デモ 健康のび体操デモ 体力測定デモ	岡本主事（PT） 松岡保健師
	10:30-12:00			
	13:30-15:00	ボランティアルーム	見学 認知症初期集中支援チーム員会議	中村祥認知症初期集中支援員
	15:00-16:30			
1月22日（金）	9:00-10:30	栄養指導室	1月　社会福祉士会議 出席（社会福祉士）、見学（社会福祉士以外）	上本参事、 羽切社会福祉士
	10:30-12:00			
	13:30-15:00	講習室	見学 基幹　いきいき百歳体操・認知症予防教室「いきいき+トレーニング」 ※体力測定	岡本主事（PT） 松岡保健師
	15:00-16:30			
1月25日（月）	9:00-10:30	機能訓練室	講義 消費生活相談について	市民協働課
	10:30-12:00		講義 母子保健・健康づくり・精神保健事業について	すこやか生活課
	13:30-15:00		講義 障害福祉サービスについて	障害福祉課
	15:00-16:30		講義 生活困窮者の制度と支援（※生活保護含む）	健康福祉政策課

日付	時間	場所	内容/テーマ	講師
1月26日（火）	9:00-10:30	中部包括	講義 南部地区地域包括支援センターの取組について 北部地区地域包括支援センターの取組について	南部　山本所長 北部　岩本所長
	10:30-12:00			
	13:30-15:00		中部地区　ケース引継ぎ	中部担当
	15:00-16:30			
1月27日（水）	9:00-10:30	中部包括	中部地区　ケース引継ぎ	中部担当
	10:30-12:00			
	13:30-15:00			
	15:00-16:30		社会福祉協議会　日常生活自立支援事業（権利擁護事業）について	社会福祉協議会
1月28日（木）	9:00-10:30	講習室	見学 キャラバンメイト連絡会	松野認知症地域支援推進員 中島主任保健師
	10:30-12:00			
	13:30-15:00	中部包括	中部地区　ケース引継ぎ	中部担当
	15:00-16:30			
1月29日（金）	9:00-10:30	中部包括	中部地区　ケース引継ぎ	中部担当
	10:30-12:00			
	13:30-15:00			
	15:00-16:30			
2月1日（月）	9:00-10:30	玉津会館	出席 玉津学区　民生委員・児童委員　定例会	中部担当
	10:30-12:00			
2月3日（水）	9:00-10:30	吉身会館	出席 吉身学区　民生委員・児童委員　定例会	中部担当
	10:30-12:00			
2月9日（火）	9:00-10:30	中部包括	講義・演習 包括的支援事業の充実② (2)権利擁護事業 (3)虐待対応の実務（通報受理、会議開催等）	上本参事 羽切社会福祉士 勝高齢者生活支援相談員

※2月自治会長会出席　吉身学区（2／8）、玉津学区（2／1）

※2～3月はケース引継ぎ（訪問、ケース会議への出席等）、新規相談対応等の実践研修を実施

資料２

令和３年度基幹型の事業計画（案）
（守山いきいきプラン 2021 に基づく）

令和３年４月から南部、中部、北部のすべての日常生活圏域に地域包括支援センターが設置となることから、身近な地域での相談支援の充実を図るとともに、次の事業等を推進し、介護予防、健康寿命の延伸を図ってまいります。

なお、事業等の実施においては、感染症対策に十分な配慮を行ってまいります。

１　介護予防事業の推進

引き続き介護予防事業を推進し、令和３年度からは 75 歳以上の方にも切れ目なく、保健事業と介護予防を一体的に実施してまいります。

（１）介護予防活動の普及啓発

・地域や自宅で取り組むことができる介護予防活動の普及・啓発
　介護予防ＤＶＤ「もりやまプラス体操」等の活用促進
　地域の自主グループ活動の感染症対策等の環境整備への助言等
・健康のび体操体験会・教室の開催による介護予防への取組推進
・自主グループ冊子の作成・配布による地域での活動紹介

（２）通いの場における取組の推進と支援

・地域における住民主体の介護予防活動（自主グループ等）の育成・継続支援
・支援を必要とする高齢者の把握（体力測定等）、課題に応じた保健指導・生活機能向上への支援
・高齢者の状態に応じた受診勧奨、医療・介護サービスの利用勧奨

２　認知症施策の推進

（１）　認知症の正しい知識の普及啓発

・認知症サポーター養成講座の開催
　市立全小学校の６年生対象
　事業所等での開催促進（SOS ネットワーク協力事業所等への案内）
・サポーター養成講座（上級編）の実施による、地域で見守り・支援ができるサポーターの養成
　市立全中学校の２年生対象

（２）　認知症初期集中支援事業

・定期的な医師による助言・介入による初期集中支援チームの効果的な体制づくり
・個別事例等への助言による効果的な支援実施のためのアドバイザーの導入
・対象者の早期把握・早期支援のための民生委員、自治会、介護支援専門員等の地域支援者との連携

（３） 地域での見守りネットワークの推進

・早期発見につなげるための行方不明高齢者等 SOS ネットワーク協力事業所の拡大

・行方不明時の早期対応・早期保護のための事前登録事業の推進

・地域での理解者を増やすための認知症サポーター養成講座、出前講座等の開催

３　在宅医療・介護連携の推進

（１） 在宅医療・介護および在宅看取りについての市民への普及啓発

出前講座（自治会等）、講演会の開催

（２） 医療・介護等の多職種による連携強化および知識・技術の習得

看取りケア研修会、病院との事例検討会、顔の見える会等の開催

（３） エンディングノートの普及啓発

・出前講座等による市民への啓発・活用の促進

・医療・介護等の関係機関への活用の周知

４　新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた事業の実施等

（１） 感染症対策に留意した事業の実施

・タブレット等を活用したリモートによる相談支援、事業等の実施

・Ｗｅｂを活用した研修等の開催

・介護支援専門員等関係機関への感染防止対策の周知・啓発による運営支援

・感染症対策を講じた通いの場・サロン等の運営支援、休止後の再開支援

（２） 外出の自粛等による高齢者のフレイル（虚弱）等の対策への取組

・介護予防ＤＶＤ「もりやまプラス体操」の活用促進

・市広報や自治会回覧等を活用した地域包括支援センター等からの定期的な情報発信

資料3－1

令和3年度圏域の事業計画・収支計画

（南部地区）

（守山学区
小津学区）

守山市地域包括支援センター

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
１　地域におけるネットワーク構築	担当地域の民生委員・児童委員、関係機関等と信頼のおける関係を作り、ネットワークの構築を行う。			
	インフォーマルサービス等の社会資源の把握に努めると共に、新たなインフォーマルサービスの資源の開発の取り組む。			
２　高齢者の実態把握	南部地区の高齢者か通う商店（スーパー、薬局）等に対して南部包括の周知を図り、支援が必要と思われる高齢者等についての情報を得る。			
	圏域内のマンション管理人に対して日頃からの相談窓口として、南部包括の周知を行い、支援の必要な高齢者等についての情報を得る。			
３　相談窓口機能	初期におけるアセスメントを適切に行い、早期に対応する。課題整理および方向性を検討した上で適切な機関、制度、サービス等につなげる。又、家族全体の総合的な相談についても、情報を整理し関係機関との連携を密に行い対応する。			
	相談内容については、３職種で共有し、緊急時には、担当者不在でも速やかに対応できる体制を整え対応する。			
４　専門的な相談支援	困難事例を把握したときは、３職種で連携し対応方法を検討する。必要に応じて基幹型、関係課職員との連携を図り適切に対応する。			
	個々のアセスメント能力の向上を目指し、定期的に部署内で事例検討を行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関との連携を密にし、高齢者虐待の予防にかかる啓発や通報窓口の周知を行い、早期発見及び虐待防止に努める。			
	通報を受理した時は、虐待支援マニュアルに基づき基幹型に報告し、迅速に対応する。必要に応じて高齢者虐待対応支援ネットを活用し、高齢者への支援方法を検討する。			
2　成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度等を高齢者が適時活用できるよう、関係機関や住民への周知啓発を行う。			
	認知症などにより判断能力の低下がみられる対象者においては、成年後見制度を適時活用できるよう支援する。			
3　消費者被害の防止	関係機関や消費生活相談員等と連携を図り、消費者被害の状況、内容などについて把握する。			
	サロンや訪問時に消費者被害の有無等の情報を収集する。また、消費生活センターや警察等からの情報を発信し、注意喚起を行う。			
4　その他	任意後見制度利用についての研修を行い、任意後見制度利用も必要に応じて支援する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　包括的・継続的ケアマネジメント支援	地域の主任介護支援専門員と共に介護支援専門員が抱える困難事例について、具体的な支援方法を検討し相談援助を行う。			
	介護支援専門員からの相談内容から課題を抽出し、解決策を検討する。			
2　包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	自治会等地域住民、集いの場などインフォーマルな地域資源との関係づくり、発掘を行う。			
	日頃の相談業務や地域ケア会議などから地域課題や地域の強みを把握する。			
3　地域におけるネットワーク構築	介護支援専門員からの相談ケースに円滑に対応できるよう日頃から各事業所、関係機関とのネットワークを構築する。			
	地域で抱える課題解決に向けて、実践力向上のための研修会や事例検討会を行う。			
4　その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。			
	家族介護者教室の講座等を通して市民への在宅医療、介護に対する啓発を行う。			
2　在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携サポートセンターやその他関係機関等との連携を行い、家族が不安なく自宅で介護できる体制を整える。			
3　在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	近隣病院の地域医療連携室等窓口と日頃から連携を密に行い、スムーズな退院支援につなげる。			
4　その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			

基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　認知症に関する正しい知識の普及啓発	認知症サポーター養成講座を、南部包括での開催や地域に出向き実施し、正しい知識の普及啓発を行う。未実施の地域への講座開催の啓発を行う。			
2　認知症初期集中支援の推進	初期集中支援チームと連携し、早期から認知症の人に関わり、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。			
	認知症による行方不明高齢者への早急な訪問活動、関係機関との連携による対応を実施する。発見後も継続的な支援を行う。			
3　認知症の人やその家族への支援	認知症の人やその介護者が集い、介護負担の軽減や悩みの解消ができる居場所づくりを地域に推進する。南部包括ではオレンジカフェ「お結びカフェ」を実施する。（毎月1回）			
	「ものわすれチェック」を出前講座等機会があるごとに啓発し、随時実施する。「（仮）もの忘れ相談会」を定期開催する。			
4　その他	行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録を推進する。			
	感染拡大防止の対策のもと、コロナ禍における集いの場の開催を行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　地域ケア会議の開催	南部地区のケースを、地域ケア個別会議に上げ、地域の課題を抽出し、地域住民、関係機関とともに問題解決に向けて取り組む。			
2　資源開発および政策提言	地域ケア個別会議での検討事項や解決困難な事例における問題点を整理し、地域ケア推進会議などで政策提言を行う。			
3　その他	南部包括主催の地域ケア個別会議を開催し、多職種連携のもと困難ケースの問題解決に向けて取り組む。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	任意事業	家族介護支援事業			
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　家族介護者支援事業	家族介護者教室を５回シリーズで実施する。男性介護者への参加呼びかけを強化する。				
	幅広い世代が参加できる教室を開催し、地域の介護意識の向上を図る。（親子介護教室等）				
2　家族介護者訪問	認知症家族介護者訪問を適宜実施し、介護の実態把握を行い、介護負担の軽減につなげる。				
	訪問前後に介護支援専門員と情報共有することで、必要に応じて介護支援専門員との連携や介護支援専門員の支援につなげる。				
3　その他	任意事業として、市民向けの自転車安全運転教室を実施する。				
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル（虚弱）予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　自立支援・重度化防止等への取組	インフォーマルな社会資源の把握、発掘を行い、地域の通いの場を介護支援専門員に周知することで、ケアプランへの位置づけを推進する。			
2　自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	自費サービスのみの利用者について、継続的にモニタリングを行い、必要に応じてフォーマル・インフォーマルサービスの利用支援を行う。			
3　介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	基幹型包括と情報共有しながら、公平・中立な事業所選定を行う。			
4　その他	介護保険非該当の高齢者世帯などで生活支援等のサービスが必要な場合は、資料や一覧表を活用し、インフォーマルサービスなどの情報提供・利用支援を行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（南部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域での通いの場の状況について把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。守山百歳体操や守山健康のび体操の活用等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における自主グループ活動の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　介護予防把握事業	地域における介護予防の取組の実態把握に努め、必要時に情報提供する。			
2　介護予防普及啓発事業	南部包括主催「Let'sトライ8」の実施、参加者を各地域の教室に継続できるよう情報提供する。参加者のモニタリングを継続し、フォローアップ（半年後の声かけ）を行う。			
	「守山百歳体操」と「もりやまプラス体操」の普及啓発に努める。			
3　地域介護予防活動支援事業	地域で行う居場所づくり、介護予防活動の立上げ、継続支援を行う。			
4　地域リハビリテーション活動支援事業	守山健康のび体操を、基幹型包括と連携し推進する。			
4　その他	各会館主催の教室において、介護予防講座（出前講座）を1回以上行う。			
	コロナ禍で地域の居場所、集いの場を実施するために、感染拡大防止のための基本的な対策の意識づけを行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（様式３）

令和3年度収支計算書および収支予算書

守山市（南部地区）地域包括支援センター

（単位：千円）

区分	項目		予算額			
			金額	積算根拠		
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	28,898			
	その他収入		0			
	収入合計（a）		28,898			
支出	人件費	正規職員（5人）	0	賃与、社保、退職共済含		
		臨時職員（0人）				
	事務費	報償費	0	外部講師謝礼 福祉用具講習借入謝礼等		
		旅費	0	外部研修参加費・旅費		
		消耗品費	0	事務用品、複写機使用料、職員制服、日用品等		
		燃料費	0	車両燃料費		
		印刷製本費	0	配布資料等		
		医薬材料費	0	コロナ関連等（消毒液、マスク等）		
		通信運搬費	0	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料		
		保険料	0	車両保険料、施設賠償保険料		
		使用料および賃借料	0	車両賃借料、 事務機器賃借料		
		委託料	0	コピー機・PC関係等保守料、振込手数料等		
		備品購入費	0	事務用備品等		
		修繕費	0	車両・OA機器等修繕		
	その他雑費		0	茶菓代・他諸経費		
	支出合計（b）		0			
収支差（a）－（b）			28,898			

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日及び収支決算を記載して下さい。

資料3－2

令和3年度圏域の事業計画・収支計画

（中部地区）

（吉身学区
玉津学区）

守山市地域包括支援センター

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務			
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　地域におけるネットワーク構築	担当地区における民生委員・児童委員、生活支援コーディネーターや関係機関等との信頼のおける関係を作り、ネットワークの構築を行う。				
	自治会館に頻繁に足を運ぶようにし、会館職員や地域住民と顔のみえる関係づくりを行い、地域のネットワークやインフォーマルサービス等を把握する。				
2　高齢者の実態把握	地域の会議や行事等でのチラシ配布や圏域地域包括支援センター主催の行事を行うことで、地域住民・事業所等に中部地域包括支援センターの周知を行い、地域からの情報収集を図る。				
	訪問や地域の会議への出席、自治会館等での聞き取り、統計の分析などから地域の特性を把握する。				
3　相談窓口機能	初期のアセスメントを適切に把握し、ニーズの把握を的確に行う。課題整理を行った上で適切な機関、制度、サービスにつなげる。				
	相談内容は事業所内で共有し、緊急時担当者が不在でも速やかな対応ができるようにする。				
4　専門的な相談支援	困難事例については各職種の特色を生かしながら課題整理を行い、支援の方向性を明確化し対応を行う。必要に応じて基幹型、関係機関職員と連携して対応する。				
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務			
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　地域におけるネットワーク構築	担当地区における民生委員・児童委員、生活支援コーディネーターや関係機関等との信頼のおける関係を作り、ネットワークの構築を行う。				
	自治会館に頻繁に足を運ぶようにし、会館職員や地域住民と顔のみえる関係づくりを行い、地域のネットワークやインフォーマルサービス等を把握する。				
2　高齢者の実態把握	地域の会議や行事等でのチラシ配布や圏域地域包括支援センター主催の行事を行うことで、地域住民・事業所等に中部地域包括支援センターの周知を行い、地域からの情報収集を図る。				
	訪問や地域の会議への出席、自治会館等での聞き取り、統計の分析などから地域の特性を把握する。				
3　相談窓口機能	初期のアセスメントを適切に把握し、ニーズの把握を的確に行う。課題整理を行った上で適切な機関、制度、サービスにつなげる。				
	相談内容は事業所内で共有し、緊急時担当者が不在でも速やかな対応ができるようにする。				
4　専門的な相談支援	困難事例については各職種の特色を生かしながら課題整理を行い、支援の方向性を明確化し対応を行う。必要に応じて基幹型、関係機関職員と連携して対応する。				
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて基幹型と連携するなか迅速な対応を行い、早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　高齢者虐待への対応	総合相談や訪問等の中で、高齢者虐待の可能性を視野に入れ、必要に応じて高齢者虐待対応を行う。			
	通報を受理したときは、虐待支援マニュアルに基づき、必要に応じて基幹型包括と連携し迅速に対応する。必要に応じて高齢者虐待対応支援ネットを活用し、高齢者への支援方法を検討する。			
2　成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度など高齢者が適時活用できるよう関係機関や住民への周知啓発を行う。			
	認知症などにより判断能力の低下がみられる方には成年後見制度の活用を支援する。			
3　消費者被害の防止	訪問時やサロン、圏域包括主催の行事等にて消費者被害の有無などの情報を収集し、消費者被害予防の周知・啓発活動を行う。			
	消費生活センターや警察等と連携を図り、被害にあった高齢者の状況等について把握を行い、再発防止の支援を行う。			
4　その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務			
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員が抱える困難事例について、共に課題を整理し支援の方向性について検討し、後方支援を行う。				
	個々の困難事例の抱える課題を整理し、地域の課題として捉える視点を介護支援専門員と共有し、解決策を検討する。				
2　包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	地域の高齢者に関わる団体、事業所の活動内容を把握し、実際に足を運んで顔の見える関係づくりを推進する。				
	地域の主任介護支援専門員と共に、介護支援専門員のアセスメント力や対応力の向上を目指す。				
3　地域におけるネットワーク構築	地域住民と介護支援専門員との顔の見える関係づくりのために、事例検討等共に地域課題を検討する機会をつくる。				
	介護支援専門員が抱える個別の問題や課題から、支援に必要な地域のネットワークを把握、検討する。				
4　その他					
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業			
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	中部包括において、市民への在宅療養・看取りやエンディングノートの普及啓発活動に関する出前講座を開催する。				
2　在宅医療・介護連携に関する相談支援	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。				
3　在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	本人や家族が不安なく最後まで自宅で療養できる支援体制を整えるため、在宅医療・介護連携サポートセンターや病院等が行う事例検討会や研修会等に参加し、事例に対する多職種連携の実践を学び、顔の見える関係づくりを推進する。				
4　その他					
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　認知症に関する正しい知識の普及啓発	守山市キャラバンメイト、認知症サポーターとの顔の見える関係づくりを構築し、情報交換の機会をつくり、啓発活動の内容を検討する。			
	認知症サポーター養成講座の未実施の地域を把握し、積極的に講座開催に係るアプローチを行い、地域に認知症の正しい知識の普及啓発を図る。			
2　認知症初期集中支援の推進	「もの忘れ相談プログラム」をサロン等で活用し、認知症の早期発見・早期治療・早期支援につなげる。			
	早期から認知症の人に関わり、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。			
3　認知症の人やその家族への支援	認知症による行方不明高齢者への迅速な訪問活動、関係機関との連携による対応を実施する。発見後も継続的な支援を行う。			
	認知症の人やその介護者が集い、介護者の負担軽減や悩みの解消ができる居場所づくりや相談場所として認知症カフェを開催する。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応や参加しやすい場所での開催を検討する。			
4　その他	行方不明高齢者SOSネットワーク事前登録を推進し、行方不明となった場合に早期発見・対応ができるよう支援する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業			
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　地域ケア会議の開催	介護支援専門員と協働のもと、中部地区のケースを地域ケア個別会議にあげ、地域の現状や課題を抽出する。				
2　資源開発および政策提言	地域ケア個別会議での検討事項や解決困難な事例の課題を整理し基幹型包括に報告するとともに、地域ケア推進会議などで政策提言を行う。				
	学区ごとの地域づくりの会議に参加し、地域課題に対して地域住民主体の活動の推進を支援する。				
3　その他					
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	任意事業	家族介護支援事業			
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　家族介護者支援事業	家族介護者教室を5回シリーズ年1回開催し、介護の知識・技術の習得と参加者の交流による介護負担の軽減を図る。				
	中部地区における男性高齢者（介護者含む）の交流の状況やニーズを把握し、交流の機会を増やせるよう方策を検討する。				
2　家族介護者訪問	支援が必要な介護者に対し、継続した訪問でフォローを行い介護に対する不安や負担感の軽減に努める。				
	認知症介護者に対し訪問を行い、介護者の健康状態と介護状況を把握する。また、介護支援専門員と連携し介護者の介護負担の軽減が図れるよう支援する。				
3　その他					
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル（虚弱）予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　自立支援・重度化防止等への取組	新型コロナウイルスによる閉じこもりからのフレイル予防に重点をおき、「守山プラス体操」のDVD等を活用することで自宅でもできる運動の普及を促進する。さらに高齢者が地域での活動の場に参加できるように情報提供や働きかけを行う。			
	「お口のフレイル」予防の必要性について知識を深め、出前講座等を活用し、「お口のフレイル」予防の啓発に努める。			
2　自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	生活機能を改善する必要のある高齢者に対してアセスメントし、生活動作の改善に必要な運動器の機能向上を目指す等適切なサービス利用につなげる。			
3　介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	基幹型包括と情報共有し、公平中立な事業所選定を行う。			
4　その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（中部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：中部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域での通いの場の状況について把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。守山百歳体操や守山健康のび体操の活用等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における自主グループ活動の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　介護予防把握事業	総合相談・訪問などから閉じこもり等で支援を必要とする人を早期に把握し、地域での通いの場などへの参加を促進する。			
	地域に向けての介護予防の出前講座を実施し、地域全体での介護予防の意識の向上を図る。			
2　介護予防普及啓発事業	介護予防自主グループに対し、守山百歳体操等の継続実施に向けた後方支援を行う。			
	介護予防教室や出前講座を実施し、各地域で介護予防活動の輪が広がるように支援する。			
3　地域介護予防活動支援事業	中部地区の各自治会において、高齢者の居場所・介護予防活動支援の拠点となる取組を推進する。			
4　地域リハビリテーション活動支援事業	守山百歳体操、守山健康のび体操を基幹型と連携し普及啓発に努めることで、自主的な介護予防の取組を推進する。			
5　その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（様式３）

令和２年度収支計算書および収支予算書

守山市（中部地区）地域包括支援センター

（単位：千円）

区分	項目		予算額			
			金額	積算根拠		
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	7,145			
	その他収入		0			
	収入合計（a）		7,145			
支出	人件費	正規職員（2人）	3,144	賞与、社保、退職共済含		
		臨時職員（3人）	2,280			
	事務費	報償費	0			
		旅費	65	外部研修参加費、研修交通費		
		消耗品費	473	事務用品、日用品等		
		燃料費	30	車両燃料費		
		印刷製本費	64	コピーカウント料金、封筒印刷代等		
		医薬材料費	80	消毒液、マスク等		
		通信運搬費	89	電話料金、携帯電話料金、郵送料等		
		保険料	137	自動車任意保険、社協の保険等		
		使用料および賃借料	259	公用車、PC,コピー機リース料等		
		委託料	330	固定電話敷設工事その他LAN配線、振込手数料等		
		備品購入費	175	電動アシスト自転車		
			0			
	その他雑費		19	住宅地図		
	支出合計（b）		7,145			
収支差（a）－（b）			0			

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日および収支予算を記載して下さい。

（様式３）

令和３年度収支計算書および収支予算書

守山市（中部地区）地域包括支援センター

（単位：千円）

区分	項目		予算額			
			金額	積算根拠		
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	29,594			
	その他収入		0			
	収入合計（a）		29,594			
支出	人件費	正規職員（2人）	15,817	賞与、社保、退職共済含		
		臨時職員（3人）	11,578			
	事務費	報償費	50	外部講師謝礼等		
		旅費	65	外部研修参加費、研修交通費		
		消耗品費	225	事務用品、日用品等		
		燃料費	202	車両燃料費		
		印刷製本費	99	コピーカウント料金、封筒印刷代等		
		医薬材料費	80	消毒液、マスク等		
		通信運搬費	330	電話料金、携帯電話料金、郵送料等		
		保険料	137	自動車任意保険、社協の保険等		
		使用料および賃借料	1,007	公用車、PC,コピー機リース料等		
		委託料	4	振込手数料等		
		備品購入費	0			
	その他雑費					
	支出合計（b）		29,594			
収支差（a）−（b）			0			

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日および収支予算を記載して下さい。

資料3－3

令和3年度圏域の事業計画・収支計画

（北部地区）

河西学区
速野学区
中洲学区

守山市地域包括支援センター

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　地域におけるネットワーク構築	担当地域の民生委員・児童委員、生活支援コーディネーター等関係者や市社会福祉協議会と地域ネットワークの構築と整備を行う。			
	インフォーマルサービス等の社会資源を把握し、必要時に対象者へ情報提供を行う。			
2　高齢者の実態把握	安否確認等の通報があった場合は、対象者の情報を収集し、基幹型包括と連携し対応する。			
	地域から相談があった場合、介護支援専門員や民生委員・児童委員と連携し、訪問等により高齢者の生活状況等を把握する。			
3　相談窓口機能	相談内容については事業所内で随時共有し、担当者不在であっても速やかに対応できる体制を整える。			
	課題整理、方向性を検討した上で適切な機関、制度、サービス等につなげる。また、関係機関との連携を随時行う。			
4　専門的な相談支援	困難事例を把握した場合、課題を明確化した上で、対応方法を検討する。また、基幹型包括や関係課職員との連携を積極的に図る。			
	年1回地区診断を更新し、地域の特性や課題、高齢者の実態とニーズを把握する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて基幹型と連携するなか迅速な対応を行い、早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関、地域の介護支援専門員との連携を図る。高齢者虐待予防にかかる啓発や通報窓口の周知、早期発見につながるよう、講座や勉強会を開催する。			
	通報を受理した時は、虐待支援マニュアルに基づき、必要に応じて基幹型包括と連携し、迅速に対応する。また、高齢者虐待対応支援ネットを活用し、高齢者への支援方法を検討する。			
2　成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度などを高齢者が適時活用できるように、関係機関や地域住民へ無料相談会等の情報提供や制度の周知啓発を図る。			
	認知症などにより、判断能力の低下が見られる対象者へ成年後見制度の活用を支援する。			
3　消費者被害の防止	高齢者世帯への訪問や出前講座時に、消費者被害防止に向けての周知啓発を行う。			
	消費者被害の相談時は、速やかに地域の交番や消費生活相談員との連携を図る。			
4　その他	地域におけるひきこもり家族の実態把握に努め、必要な機関へつなげる。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務			
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員から困難事例の相談を受けた時は、介護支援専門員の抱える課題を整理し、支援の方向性を共に検討するなど、後方支援に努める。				
	相談事例より考えられる北部地区の地域課題の抽出を行う。				
2　包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	地域の介護支援専門員の人材育成を行うにあたり、市内各居宅支援事業所の主任介護支援専門員との連携を図る。				
3　地域におけるネットワーク構築	地域の介護支援専門員と民生委員・児童委員が参画できる勉強会を年1回以上行い、北部包括を含めた関係づくりと地域づくりを考える機会を持つ。				
4　その他					
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業			
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。				
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫してできている	できている	工夫が必要	
1　在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	北部地区において在宅療養・看取りについての講座を開催し、エンディングノートの普及啓発・活用促進を行う。				
	在宅医療・介護連携サポートセンターと連携し、在宅医療や介護に対して気軽に相談できる窓口の周知に努める。				
2　在宅医療・介護連携に関する相談支援	退院時等において、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、本人・家族が不安なく療養できる支援体制を整える。				
3　在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	基幹型包括が主催する病院と地域包括支援センターとの勉強会に定期的に参加し、実践に活かせるようにシームレスな支援と連携を学ぶ。				
4　その他					
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要		

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期対応に努めること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		よりエ夫してできている	できている	工夫が必要
1　認知症に関する正しい知識の普及啓発	認知症サポーター養成講座を未実施の地域や北公民館において開催し、認知症の正しい知識の普及啓発を行う。			
	守山市キャラバンメイト、カフェボランティア、認知症サポーター等、活動関係者とのネットワークづくりや情報共有を行う。			
2　認知症初期集中支援の推進	相談時には認知症初期集中支援チームを活用することにより、早期介入し、必要な医療や適切なサービスにつなぐ等、早期支援および重症化の予防に努める。			
	行方不明高齢者への早急な訪問活動、関係機関との連携による対応や発見後の支援、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録申請を推進する。			
3　認知症の人やその家族への支援	出前講座等において「もの忘れ相談プログラム」の周知啓発を行い、認知症の早期発見・早期治療等の支援につなげる。			
	地域の身近な居場所や相談場所として、認知症の人や介護者が集えるように、認知症カフェ「ほっこり庵～絆」を北公民館にて毎月開催する。			
4　その他	高齢者の運転について地域の住民に向けて講座や勉強会を企画する。また個別の相談時には、運転免許センターの職員と連携し、必要に応じて専門医受診につなげる。			
	新型コロナ等感染症の拡大防止対策を実施し、地域の集いの場の開催を支援する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	よりエ夫してできている	できている	工夫が必要	

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　地域ケア会議の開催	北部包括に相談があった事例を基に、地域の問題点や課題を整理し、基幹型包括主催の地域ケア個別会議を活用することで地域課題の解決方法を検討する。			
	北部包括主催の地域ケア個別会議を開催し、事例の個別課題と北部圏域における地域課題を整理する。			
2　資源開発および政策提言	地域ケア個別会議の事例を基に、関係機関と共に社会資源と地域づくりについて検討する。			
	学区ごとの地域づくりの会議に参加し、地域における取組を知り、地域住民主体の活動の推進を支援する。			
3　その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	任意事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　家族介護者支援事業	家族介護者教室を北公民館にて5回シリーズで年1回開催する。			
	男性介護者の介護による孤立や負担の軽減を図れるよう、家族介護者教室や男性介護者の集い等交流の場の紹介や個別の相談支援を行う。			
2　家族介護者訪問	認知症高齢者の介護をしている家族に対し、訪問等により健康状態や、介護負担について状況を把握する。			
	虐待防止の視点より、支援が必要な介護者に対して、介護支援専門員や民生委員・児童委員と連携し、継続した支援を行う。			
3　その他	地区診断の分析を基に、北部地区の特性や課題を抽出し、実態を把握する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル（虚弱）予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　自立支援・重度化防止等への取組	地域における体操や活動の場を訪問し、健康状態や活動内容について把握する。			
	高齢者が自立した生活を送れるよう、地域における体操や活動の場の情報提供を行い、自主グループの利用促進を支援する。			
2　自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	介護予防教室等の参加者に対し、フレイル予防に向けてアセスメントし、ADLやIADLの改善に向けた必要な運動器の機能向上支援（インフォーマルサービスの利用支援）につなげる。			
3　介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定において、公平・中立性の確保を行うために、選定の理由を含め、基幹型包括へ年1回報告を行う。			
4　その他	地域の介護予防・生活支援サービス事業（リハビリデイサービス等）と連携を図り、地域の介護予防の取り組みを検討する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（北部地区）地域包括支援センター　様式３

地域包括支援センター事業計画書および評価：北部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域での通いの場の状況について把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。守山百歳体操や守山健康のび体操の活用等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における自主グループ活動の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和3年度　圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1　介護予防把握事業	地域に向けて介護予防（閉じこもり・口腔・栄養）の出前講座を行い、地域全体の介護予防の意識向上を図る。			
2　介護予防普及啓発事業	守山百歳体操の自主グループの活動継続に向けた後方支援を行う。			
	男性高齢者の閉じこもり予防と介護予防の推進を図る。			
3　地域介護予防活動支援事業	北公民館を拠点とした介護予防教室を実施し、各地域の中で活動の輪が広がるように支援する。また、参加者のフォローアップ（訪問や声掛け）に努める。			
	北公民館において、高齢者の居場所・介護予防活動支援の拠点となるような仕組みづくりを検討する。			
4　地域リハビリテーション活動支援事業	地域住民に対して、守山百歳体操および守山健康のび体操の普及啓発に努める。			
4　その他	サロンや出前講座等でもりやまプラス体操や介護予防手帳の活用について紹介し、住民が自主的に自宅でできる介護予防の取り組みを推進する。			
	地域の居場所や集いの場に出向き、新型コロナ等感染拡大防止のための基本的な対策の意識付けを行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

（様式３）

令和3年度収支計算書および収支予算書

守山市（北部地区）地域包括支援センター

（単位：千円）

区分	項目		予算額			
			金額（円）	積算根拠		
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	29,150			
	その他収入		0			
	収入合計（a）		29,150			
支出	人件費	正規職員（5人）	26,645	賃与、社保、退職共済含		
		臨時職員（0人）				
	事務費	報償費	30	外部講師謝礼 福祉用具講習借入謝礼等		
		旅費	76	外部研修参加費・旅費		
		消耗品費	250	事務用品、複写機使用料、職員制服、日用品等		
		燃料費	120	車両燃料費		
		印刷製本費	93	配布資料等		
		医薬材料費	50	コロナ関連等（消毒液、マスク等）		
		通信運搬費	454	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料		
		保険料	92	車両保険料、施設賠償保険料		
		使用料および賃借料	673	車両賃借料、 事務機器賃借料		
		委託料	312	コピー機・PC関係等保守料、振込手数料等		
		備品購入費	72	事務用備品等		
		修繕費	177	車両・OA機器等修繕		
	その他雑費		106	茶葉代・他諸経費		
	支出合計（b）		29,150			
収支差（a）－（b）			0			

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日及び収支決算を記載して下さい。